

# CASBEE<sup>®</sup> 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都生活協同組合 常温物流棟 増築工事	階数	地上3F
建設地	京都府京都市南区吉祥院石原上川原町1番地2	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化区域、準防火地域	平均居住人員	80 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2019年2月1日
敷地面積	9,042.22 m <sup>2</sup>	作成者	西川学
建築面積	1,622.14 m <sup>2</sup>	確認日	2019年2月8日
延床面積	4,645.38 m <sup>2</sup>	確認者	天野 要



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 84% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 80%

④上記+ 80%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 2

LR2 資源・マテリアル: 3

LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
耐久性の高い材料を採用し、ライフサイクルコストを低減しており、断熱性能が高く省エネルギー性が高い。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
壁と床に吸音材を使用しており、F☆☆☆☆の内装材を採用している。フラインドと庇によりグレアを制御。また事務室の照度は500 lx以上。大きな掃出しの開口部を設けている。	耐用性年数に優れた材料を使用している	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能が高く省エネルギー性が高い	節水型便所を使用している。吹付け硬質ウレタンフォームA種、グラスウールを採用している。また、地域産木材2品目使用している。	耐久性の高い材料を採用し、ライフサイクルコストを低減している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される